

旭川農業の特徴

全道トップクラスの新規就農者数

平成25年から10年間で、21名の方が農外から新規参入しています。就農10年以上のベテランから若手まで新規就農者同士の交流も盛んです。最近では有志が集まり皆で協力し、イベントでの農産物直売にも取り組んでいます。

クリーン農業の推進

食の安全・安心に対する意識の高まりと環境への配慮から、旭川市では農家の皆さんと連携しながら農業の使用量を抑え、土づくりに力をそそいだクリーン農業を推進しています。

米・野菜の生産地

旭川市は北海道有数の米生産地です。食味、品質面でも消費者から高い評価をいただいております。また、様々な野菜が生産されており、特にチンゲンサイ、小松菜などの葉菜類は道内の主要産地となっています。ほかには、トマトやししとうなどの果菜類、花きなど多品目が生産され、地元にも流通し、市民の食卓を彩ります。

都市と農村の交流

農作業や農家民泊など農村での生活体験、農家レストランや農畜産物の直売所などを通じて、消費者である都市部の方々に農村の魅力や農業の大切さを知ってもらうため、農家の皆さんが行うグリーン・ツーリズムの取り組みを推進しています。

収益性の高い農業の展開

多くの農家の皆さんは、恵まれた立地条件を活かして、米と野菜や花を合理的に組み合わせた複合経営を行っております。また、収益性の高い品目を複数作付けし、労働力バランスを考えた足腰の強い農業経営に取り組んでおります。

農業を始めたいひとを応援します。

旭川の農産物

水稲は市内全域で作られています。60種類以上の野菜、畜産・酪農のほか、果物や花きもあり、無いのは魚介類くらいという恵まれた土地柄です。



あさひかわ 新規就農 支援ガイド

農業がある。都市がある。
あなたの夢かなえる街、
旭川

お問い合わせ 旭川市農政部農政課経営支援係

tel(0166)25-7417 e-mailアドレス nousei@city.asahikawa.lg.jp



ホームページ

魅力ある農業を 目指してみませんか

豊かな自然、人口32万人の都市機能
旭川市があなたの
「理想の就農」を応援します

農業を始めるには

目指す農業は何か

営農の形態(作目、規模等)により、就農地域、必要な資金、研修受入の可否が大きく異なります。自分の目指す農業について、あらかじめ目標を明確にしておきましょう。また、将来を見据えて営農だけでなく、ご自身とご家族の人生をどのように考えるのか、生活面の課題も整理しておきましょう。



独立

新たに経営を開始

経営継承

離農農家を継承して
経営を開始

共同経営

農業法人の構成員として
営農開始



先輩からのメッセージ

未経験でも
就農しやすい



先輩からのメッセージ

暮らしやすさを
考えて旭川へ

雇われて働くのではなく、自分の力で何かをやりたいと思い、会社員だった24歳の時に軽い気持ちで新規就農研修の説明会を受けたのがきっかけです。指導農家さんにも恵まれ、希望していたトマトの生産で就農して15年になります。もちろん、順風満帆だったわけではなく、10年くらいは大変でしたね。最初の難関は土地の入手です。作物にはそれぞれに生産されているエリアがあるので、自分が希望する作物はどこでやるのが良いか、そこで土地を得られるか、しっかり計画を立てることが重要です。農業が好きという気持ちは大事ですが、農業は経営なので、継続してやっていくためには栽培技術だけでなく、販売や経営のことを勉強する必要があります。とはいえ、先輩農家さんに真摯に教を請えば答えてくれますし、「旭川農業新参者」という新規就農者の集まりなどもあり、心配はいりません。旭川の農業は少量多品目の特徴があり、私のように経験がなくても新規就農しやすいところだと思いますよ。

私たちは大阪から来ました。土いじりもしたことのない都会っ子で、コンビニエンスストアを自営していましたが、これから時代が進んで様々な仕事が機械化されていっても、食の生産に関する仕事はなくなるだろうと思い、先々を考えて農業をやろうと決めました。体が丈夫であれば、定年もなくいつまでもできるのも魅力ですね。農業をやるなら北海道という思いの下、暮らしやすい都市機能があることを条件に選んだのが旭川です。こちらに来る前年に1週間の農業体験をした際、指導農家さんの温かさに触れたことが決め手となりました。農業で生計を立てていけるのか正直不安面はありますが、この選択は、間違いでないと思っています。現在は4軒の指導農家さんをまわって、様々な農業のやり方を学んでいます。ハウスの結び方ひとつ取っても、微妙な違いがあるんですよ。研修が進む中で自分にあった方法や、やりたい作物も見えてきました。まずは初めての冬を乗り越えています。2年目も頑張ります。



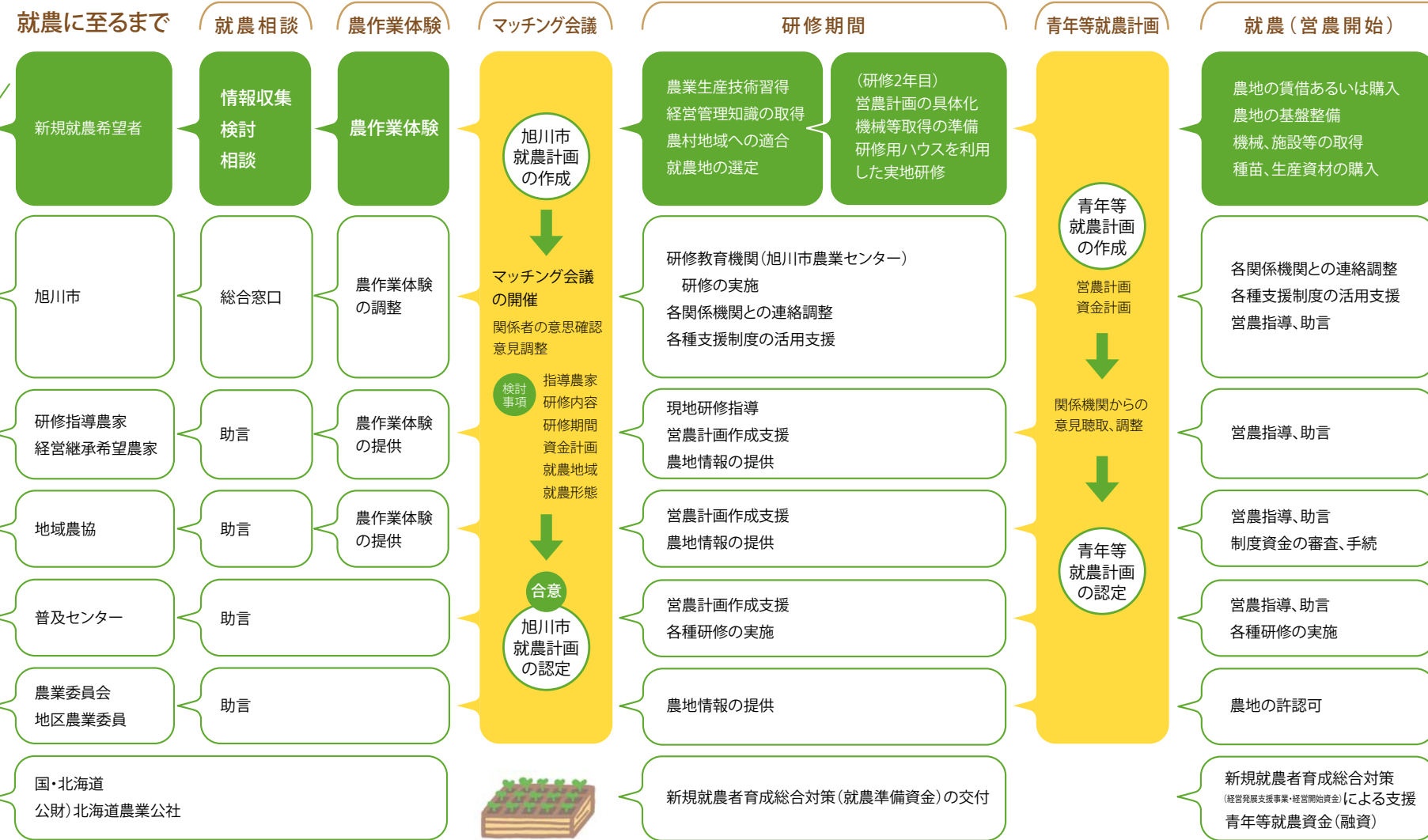
2007年4月 新規就農

守屋農園
守屋大輔さん

- 栽培品目
- トマト
 - ミニトマト
 - 寒締めホウレンソウ
 - 雪の下ニンジン 等



2020年度 農業研修生
杉山 誠さん 夫妻
杉山敬子さん



各種支援制度

諸条件がありますので、詳細についてはご相談ください。

新規就農者育成総合対策

就農準備資金(国)
研修機関等において研修を受ける就農希望者への支援
150万円/年(最長2年間)

経営開始資金(国)
経営開始直後の新規就農者に対する支援
150万円/年(最長3年間)

経営発展支援事業(国・道)
就農後の経営発展のために必要な機械・施設等の導入を支援
補助対象事業費上限500万円(採択方式、本人負担1/4)

(2023.4時点)

旭川市の支援制度

新規就農者の経営発展を支援する補助金

新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業)の自己負担相当額について助成します。

補助限度額:125万円
(夫婦で就農の場合は1.5倍)

農業研修生住宅費助成事業補助金

農業研修中の賃貸住宅の家賃の一部を助成し、生活費の負担を軽減します。

補助期間:農業研修期間中(最長2年間)
補助率:50%以内
補助限度額:30万円(年間)

農業研修施設整備推進事業補助金

農業研修2年目に、農協等が建てたハウスを利用して栽培研修を実施することができます。ハウスは就農後も引き続き利用することができます。

〈ハウスの利用料〉
研修期間中:無償
就農後:有償(金額は協議の上決定)

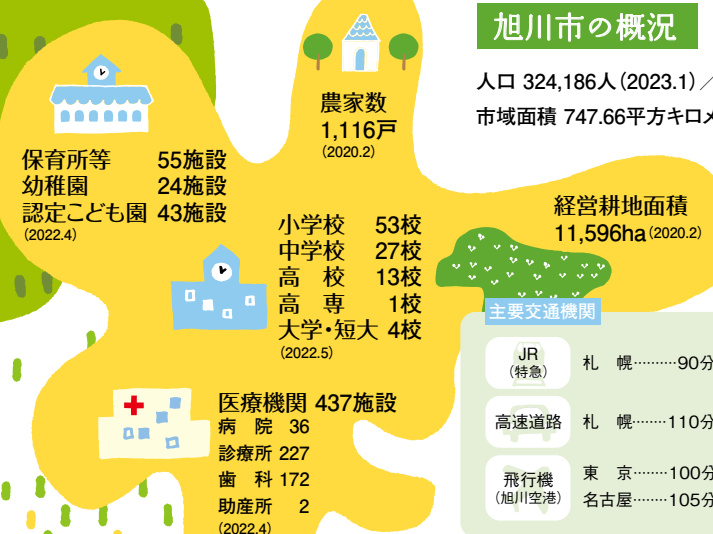
新規就農者の飛躍を後押しする補助金

就農4~10年目の者のうち、一定要件を満たした新規就農者を対象として、経営規模拡大のための投資や新分野の導入、販路拡大等に係る費用の一部を助成し、さらなる経営発展を後押しします。

補助期間:就農4~10年目
補助率:50%以内
補助限度額:300万円(7年間累計)

旭川市の概況

人口 324,186人(2023.1) / 世帯数 177,697世帯(2023.1)
市域面積 747.66平方キロメートル



農業生産額(2021年度)

総額13,598百万円

米	7,548百万円
畑作	660百万円
野菜・果樹	1,523百万円
花き	81百万円
畜産	3,526百万円
その他	260百万円